

「共通テスト」で英語は大きく変わります！

(編) 八幡成人

1. 「共通テスト」で大きく変わるのは？

※河合塾 Kei-Net 記事を一部改変



重要

大学入試センター試験	大学入学共通テスト
英語 - 筆記 (200点) 発音、アクセント、語句整序など単独で問う問題を出題 - リスニング (50点) 読み上げられる音声の回数は、全て2回読み	- リーディング (100点) 発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題の出題はない ④しかし「文法不要」とはならない！ - リスニング (100点) 読み上げられる音声の回数は、問題により1回読み、2回読みのものが混在

ここがポイント

※試験時間はセンター試験と同じ (R 80分とL 30分)。各大学の二次試験は従来通り

2. 細かな変更点 得点の高い層と低い層で二極化が予想

要確認

① 「思考力」「判断力」を問う問題が！

概要や要点を把握する力 必要な情報を読み取る力
複数の情報を読み取って答えを導き出す問題 該当箇所から推論する問題も



② 本文の分量が大幅に増加！

重要

総語数が1,000語以上増える (現行約4,200語⇒試行テスト約5,400語)

試験時間は80分のまま⇒「速読力」が要求される

▶英語の苦手な生徒は解答時間が足らず、今でも最後までいかない。これが1,000語以上増えると…？要対策—「語彙力」が今まで以上に要求される

③ 全てが「長文問題」に！ ~あらゆる素材文が出題される

メモ・ブログ・ネット記事・レシピ・物語・評論などありとあらゆる素材文が出題

★「勝田ヶ丘志学館」ではこれら全てに対応した指導を行います

④ 問題の指示は全て英語で行われる！

さらに全ての問題に場面の「状況設定」が英語で明示される



⑤ 複数解答もあり

※解答は組み合わせを答える方式に
今までは正解答は1つだったが、複数解答の問題も出題 (⇒難化)

⑥ イギリス英語が出題される可能性 リーディング&リスニング共

従来はアメリカ英語だったが、これに加えてイギリス英語が使われることもある

⑦ リーディング (R) とリスニング (L) の配点が均等に！

リーディング：リスニング＝100点：100点 (センター試験は200：50点)
※ただし運用は各大学に任されており、現時点では文科省のこの方針は揺らいでいる。

(1) 共通テスト英語 R：L が 4：1 の大学
筑波 奈良女子 神戸 鳥取 島根 岡山 山口 など
※中国地方は広島大を除き4：1

(2) 共通テスト英語 R：L が 3：1 の大学
京都 大阪 東北 名古屋 東京医科歯科 岐阜 など

(3) 共通テスト英語 R：L が 2：1 の大学
三重 東京都立 (都市環境) など

(4) 共通テスト英語 R：L が 7：3 の大学
東京

(5) 共通テスト英語 R：L が 1：1 (テスト配点通り) の大学
広島 北海道 お茶の水女子 名古屋工業 など

※広島は外部民間試験 (例えば英検準1級) を利用してみなし満点とする制度継続

INFORMATION



check!

⑧ 平均点は5割に (※センター試験は6割) ⇒ 難化！

●その他、リスニングで読み上げスピードが速くなる、すき間時間の短縮 (1回目と2回目、問いと問いの間)、「身近な話題」＋「社会的話題」幅広い話題について出題が取り上げられるなどの変更が。